

事業所名

コスモス地域福祉活動センターえと

児童発達支援事業 支援プログラム

作成日

2024 年

11 月

11 日

法人（事業所）理念		*だれもが、必要な時に、利用できる福祉制度の確立を目指します。 *利用者の生活と発達を保障し福祉の向上と内容の充実につとめます。 *利用者の健康で文化的な生活と権利をまもり、福祉のネットワークづくりにつとめます。 *地域の人々と共同し施設の民主的な運営につとめます。 *国民の基本的人権の尊重と人類の恒久平和につとめます。							
支援方針		・えとでは、「3つの柱」を大切に、子どもたちへの支援を行っています。①子どもの願いに寄り添う、②折り合いをつける力を育む。③自己肯定感を育む。 ・子どもたちのできることを増やしていくこと、「できた」から自信に繋げていくこと、他者から認めてもらえる瞬間を作ること、「もっとやってみたい」の気持ちの引き出しを増やすことを、遊びを通して支援し子どもの願いに寄り添いながら、折り合いをつける力や自己肯定感をばぐんでいきます。 ・子どもが発達・成長していく中で、「快の経験」（心地の良い経験）を広げ、「不快な経験」（新しいこと、苦手な感覚）も受けとめられるように支援していきます。 ・家族の方への、子育ての助言や情報の提供などの支援も大切に行っています。 ・祭りや行事に参加し助け合い、地域との関わりを大切にします。							
営業時間		10 時	0 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	相談に応じる
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・健康管理をおこなうため、体調を定期的に家族と確認します。利用時には体温測定をおこない、異常を早期にキャッチします。小さなサインから心身の異変等に気づけるよう視察・観察をしています。 ・食事：他児と一緒に「昼食」「おやつ」を食べ楽しい雰囲気の中で食べるから食べれる物の幅を広げ、偏食の対応をおこなっていきます。また、食事時間だけでなく、ままごと遊び等を通して食具の持ち方（力加減）を伝えています。 ・排泄：活動の前に「トイレに行こう」と話しかけながらトイレに行き、便座に座る（座っている時には、褒める・歌を歌う）、成功したときには「〇〇出たね」と褒め、トイレの時間が子どもにとって楽しく快いものに支援しています。 ・衣服の着脱：大人が子どもに応じた援助をおこない自分でできることを増やしていけるよう支援をしています。							
	運動・感覚	・マットやブランコ、ハンモック等を使用し、身体を動かし楽しみながら体幹を鍛え、バランス感覚、力の強弱や距離感など、さまざまな身体感覚・感触に触れ身体機能の維持・向上を図ります。 制作活動の中で、ハサミやノリ、鉛筆、絵の具などの道具の使い方を学んだり、色々な感覚を楽しめる支援をしています。 ・天気の良い日は、大人と手をつなぎ一緒に歩き散歩にいき身体を十分に動かします。							
	認知・行動	・ままごと、ブロック、パズル、粘土、描画などの活動の中で、手指の使い方や力の加減の仕方、必要な情報を収集し、組み立てをイメージするなど、認知機能の発達を促します。 ・他児と一緒に遊びながら「待つ」「順番を守る」という経験をし、他児の存在や気持ちを意識し活動できるように支援していきます。 ・活発に動いて遊ぶ場所、静かに遊ぶ場所、カームダウンの空間などを設定し、子どもが自ら活動の目的に応じて自分の動きをコントロールできるように支援します。 ・個々の障害特性や発達に応じて、1日の流れや、取り組みの説明等は視覚支援を用い、子ども自らが見通しが持って行動できるように支援します。							
	言語 コミュニケーション	・小集団での遊びを通して、自分の気持ちを少しずつ伝えていけるよう、言葉だけでなく身振りや視覚支援をとり入れた支援をしています。 ・子どもからの身振り、サインを受け止め、絵カードなどで思いの確認をし、大人が代弁しながら他児へと繋ぐ支援を行っています。 ・パズル・絵本、絵カード等、遊びや生活の中で、身近な物を照らし合わせ言葉を覚えることができるように支援をおこなっています。							
	人間関係 社会性	・「自分は大切」と感じられるように、子どもたちが困ったことや、どうにか助けてほしいことを職員へ伝えられるよう、言葉ではなくても発信できるように関係作りを大切にしています。伝えたいことを受け止めてもらえたという経験を積み重ねていく支援を大切にしています。 ・特定の大人との関係を通して安定した愛着関係をつくり、そこから育まれる安心感や信頼感を基にして他児との関係を広げていきます。 ・友だちの楽しそうな様子を見て「やってみたい」と感じられるような雰囲気作り、環境の設定をおこない、友だちと一緒に遊ぶ楽しい経験の積み重ねをおこなっています。 ・誕生日会を開催し、自分が主役となれる瞬間づくりを大切にしています。 ・散歩では、公共の場所でのルールを守っていけるよう支援をおこなっています。							
家族支援		・放デイを利用している家族との交流会の開催・個別懇談の開催・法人内作業所家族、職員との交流会の開催・参観を通しての交流 ・家族からの相談（きょうだいの支援も含む）に対する適切な助言等				移行支援		・園と支援内容についての共有、引継ぎ ・進学先への支援や情報の引継ぎ、担当者会議への参加 ・ライフステージを見据えた将来的な移行に向けた準備への参加	

地域支援・地域連携	・地域防災訓練への参加 ・事業所まつりの開催・地域の行事（まつり）への参加 ・地域の基幹・障害児相談・放課後等デイサービスの連携	職員の質の向上	・法人内外の研修へ参加(人権研修、虐待研修、マナー研修、発達や強度行動障害への支援・安全衛生大会についてなど) ・ひやりはっとの取り組み ・KYTの取り組み
主な行事等	・家族と一緒に遠足・初詣・節分・お花見・ひな祭り・プール取り組み・防災体験訓練・外食取り組み・海取り組み・体育館運動遊び・運動会・夏祭り・ハロウィン取り組み ・クリスマス会・卒業式など。（季節に合わせた行事や夏休みに取り組めるものを記載） ※誕生日会(毎月)		